

2025年7月20日（日）第二礼拝「天地創造信仰の祝福」創世記1章1～5節

創世記は、全ての根源について書かれており、天地創造、人間の創造と墮落と救い、それを信じる最初の人アブラハム(信仰の先祖)について書かれています。天地創造を通して与えられる祝福について考えてみましょう。

第一番目、摂理の信仰です。摂理とは、生きておられる神様が計画を持って天地万物を造り、それらを治め、私たち人間を導かれるということです。「初めに、神が天と地を創造した」ことを信じる時、そこに祝福があります。すべては偶然にできたとし、進化論を信じ、人間はこの地に投げられた存在だと考える人もいますが、もしそうなら私たちの存在は虚しいものです。しかし、神様が目的と計画を持って私たちをこの地に送られました。そこに祝福と平安があります。例えば、地球の重力が大き過ぎるなら、アンモニア等の毒ガスが発生し、人はこの地に住むことができません。反対に重力が小さいなら、大気に酸素や水蒸気が少なくなり、人は生きていけません。私たちがこの地上に生きていけるように、神様は全てを備えてくださったのです。この神様の摂理を信じる時、何も心配する必要はないのです。

第二番目、全能の御言葉を信じる信仰です。創世記一章は「神は仰せられた。…そのようになった。」という箇所が続きます。神様は全能の神様であり、すべて神様が言われた通りになります。そのことを信じた人がアブラハムでした。百歳のアブラハムは自分の体が死んでも同然で、九十歳のサラは女性として機能しない体でイサクが生まれました。イエス様も十字架で死なれましたが、全能の神様の力で復活し、昇天して神様の右の座に座られました。このように全能の神様の御言葉を信じるなら、不可能が可能になり、信じた通りになります。

御言葉が入る前の状態は、地は茫漠として何もなく、やみが大水の上にあります。これは、イエス様を信じる前の私たちの虚しい状態を表します。この時、神の霊が水の上を動き、神様は「光があれ。」と仰せられました。全能の神様の御言葉は光です。私たちは聖霊様によって御言葉(イエス様)への信仰が与えられ、心の闇に光が照らされ、神様がよし(義)としてくださいました。同様に私たちが「あなたの罪は赦された。イエス様の打ち傷によって癒され、アブラハムの祝福を受ける者とされた。イエス様はよみがえりであり、いのちだ」と御言葉を宣言する時、光が放たれ、その人たちは祝福され、救いを受け取ることができます。

第三番目、神様は愛の神様、良き神様です。父なる神様の心は御子が十字架で死ぬことであり、御子の心は父の心に従順することでした。父と子は互いに愛し合い、御霊はその連絡をされます。イエス様は父の心に従順して高い御座を捨てられ低くされました。これが栄光です。私たちはこの三位一体の神様の栄光のかたちに似せて造られ、神様の栄光を表す目的で造られました。私たちが神様の愛、喜び、平安に満たされることが、神様の栄光であり私たちの喜びです。また、神様の栄光に価値を置くこと、神様を礼拝すること(worship)が私たちの生きる目的です。神様は、私たちが神様の栄光を反射しながら、隣人や動植物を愛し、神様の愛を持ってこの地を治めることを望まれています。アーメン！